



福島ロータリークラブ
2018-19年度 会長

うら べ ひろし
浦 部 博

2018-19年度の会長を務めるに当たり、わたくしは、福島ロータリークラブの基本方針・活動目標について、以下のように考えております。

1) 2530地区平井ガバナーによる地区の活動目標は、RIの重点目標である、3つのテーマが上げられております。

1. 「クラブのサポートと強化」 現会員を維持・会員増強・女性会員若手の増強
2. 「人道的奉仕の重点化と増加」 ポリオ撲滅・年次基金等の増加・IA RAの活性化
3. 「公共イメージと認知度の向上」 ロータリーへの認識の向上・周知を図る

2) 地区活動方針と目標については、さらに細分化され1.～9. までありますが、当クラブで努力したい主なものは1.～5.の5つで、

1. 会員基盤の維持と強化
2. 公共イメージの向上
3. ロータリー賞への挑戦
4. 奉仕活動支援(社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)
5. 米山奨学会への協力に力を入れます。
6. ポリオ撲滅 最終活動への強力な取組み
7. 財団への理解と活用
8. RI戦略計画と中核的価値観の理解と実践
9. 研修制度の充実

3) クラブの活動方針は

本年度はクラブの充実を目指す(友和と進化の年)と位置付けました。

昔は、先輩からいろいろな話が聞けました、あるいは、個人個人に独特のキャラクターがあって、そんな個人的な趣味とか思考に惹かれて、ほんとうの心からの友人が出来た・と思います。そんな会員相互の友和交流、温かいクラブの復活を目指したいと思います。

一方で、あらゆる場面でクラブ活動の(進化)を目指して、新しい時代感覚をもった試みに、ぜひ挑戦していただきたい。と考えております。

(温かくて、進化するクラブ運営)ができれば、充実したロータリーライフを共有でき、出席率も向上すると考えます。

役員・理事および、会員みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



福島ロータリークラブ
2018-19年度 幹事

まし こ つとむ
増 子 勉

2018-19年度福島ロータリークラブの幹事を仰せつかりました増子です。

会歴は重ねましたが、改めてロータリー会運営のおさらいをして、浦部会長の10項目の活動方針に準じて会長を補佐してまいります。

歴代幹事で最高齢だと思われまます。副幹事の高倉裕行会員、佐藤朋幸会員、山口圭介会員、事務局の小澤様のご協力、また前事務局の大関様からもアドバイスを得ながら、クラブはもとより、会員の皆様にとって、より良き1年、心地良い1年になるようスムーズな運営に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。